

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果概要

安曇野市教育委員会学校教育課
教育指導室

「令和5年度全国学力・学習状況調査」が4月18日に行われ、市内小中学校全17校で実施しました。その結果が7月31日に公表されましたので、その概要を報告します。

今後は、安曇野市教育委員会として教育施策や教育活動に役立てるため、市校長会と協働して組織した学力向上推進委員会にて結果の詳しい分析・考察を行ってまいります。

調査の概要

- 調査の名称 令和5年度全国学力・学習状況調査
- 実施日 令和5年4月18日（火）
- 実施学年 小学校6年生（10校、739人）、中学校3年生（7校、724人）
- 調査の内容
 - ①教科に関する調査
 - ・小学校…国語、算数（2教科）
 - ・中学校…国語、数学、英語（3教科）
 - ②学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する質問紙調査

各教科の学力状況

●傾向と課題

各教科の全体の平均正答率を見ると、昨年度と似たような傾向で、中学校では全教科が全国や県を少し上回るから大きく上回るという結果で、小学校は県とほぼ同じで全国を少し下回るという結果でした。

具体的には、小学校では国語、算数ともに全国を少し下回り、県とほぼ同じでした。中学校では、国語は全国を少し上回り、県を上回りました。また、数学は全国や県を上回り、英語は全国を上回り、県を大きく上回るという結果でした。

正答数の分布を詳しく見ると、小学校では、国語は全国や県とほぼ同じでしたが、算数は上位層が全国や県に比べてやや少ない状況となっています。中学校では、国語は全国や県とほぼ同じでしたが、数学は下位層、中間層、上位層それぞれに全国や県に比べ多い層があり三つの山が生じる状態となっています。また、英語は全国や県に比べ上位層が多い状況となっています。

内容や領域面から見ると、小学校では国語の「情報の扱い方に関する事項」は良好な結果ですが、特に国語の「読むこと」や算数の「変化と対応」、「データの活用」には課題があり、

改善していく必要があることが分かります。中学校は全体的に良好な状況で、国語の「我が国の言語文化に関する事項」は特に良好な状況にあることが分かります。しかし、国語の「情報の扱い方に関する事項」には課題があり、改善していく必要があると考えられます。

【全国や長野県との平均正答率の比較】

【小学校 国語】

内 容	全国との比較	県との比較
国語全体	▽	○
言葉の特徴や使い方に関する事項	▽	○
情報の扱い方に関する事項	☆	☆☆
話すこと・聞くこと	○	○
書くこと	○	○
読むこと	▽▽	▽

【小学校 算数】

内 容	全国との比較	県との比較
算数全体	▽	○
数と計算	▽	○
図形	▽	○
変化と関係	▽▽	○
データの活用	▽▽	○

【中学校 国語】

内 容	全国との比較	県との比較
国語全体	☆	☆☆
言葉の特徴や使い方に関する事項	○	○
情報の扱い方に関する事項	▽▽	○
我が国の言語文化に関する事項	☆☆☆	☆☆☆
話すこと・聞くこと	○	☆
書くこと	☆☆	☆☆
読むこと	☆	☆☆

【中学校 数学】

内 容	全国との比較	県との比較
数学全体	☆☆	☆☆
数と式	○	☆☆
図形	○	☆☆
関数	☆☆	☆☆
データの活用	☆☆	☆☆

【中学校 英語】

内 容	全国との比較	県との比較
英語全体	☆☆	☆☆☆
聞くこと	☆☆	☆☆☆
読むこと	☆☆	☆☆☆
書くこと	☆	☆☆☆

※ 表中の記号の表す内容（正答率に対して）

☆☆☆…大きく上回っている（+4.0～）

☆☆…上回っている（+2.0～+3.9）

☆…少し上回っている（+1.0～+1.9）

○…ほぼ同じ（±0.1～±0.9）

▽…少し下回っている（-1.0～-1.9）

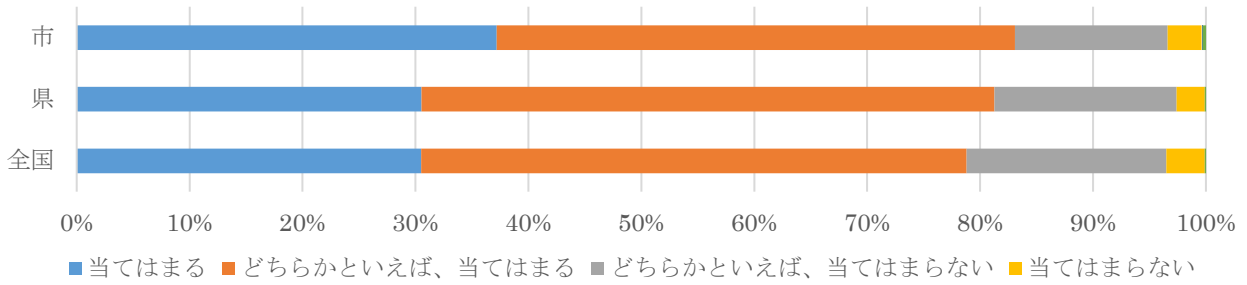
▽▽…下回っている（-2.0～-3.9）

▽▽▽…大きく下回っている（-4.0～）

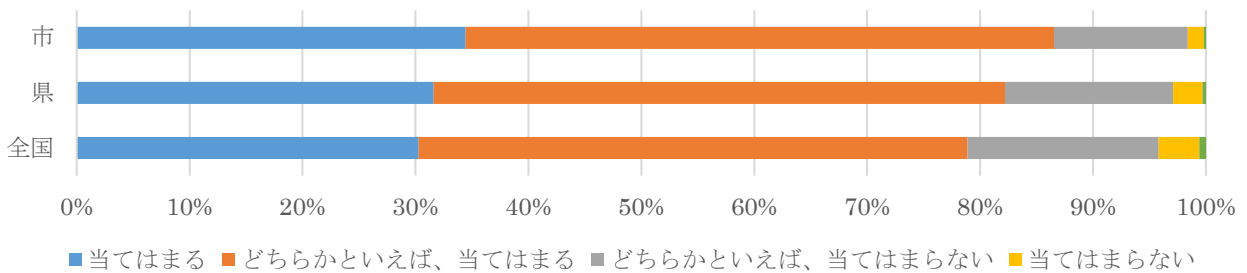
学習指導要領で求められる「主体的・対話的で深い学び」に関わる質問紙調査の問い「5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」に対しては、「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」を合わせた肯定的な回答を、小学校では県を少し上回り全国を大きく上回る83.1%の児童がしており、中学校でも県や全国を大きく上回る86.2%の生徒がしています。小学校・中学校ともに課題解決的な学習が行われ主体的に学ぶ姿勢が育ってきていると考えられます。

また、「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」でも肯定的な回答を、小学校は昨年度を上回る87.2%の児童がしており、中学校でも昨年度を下回ったものの8割近い79.0%の生徒がしています。小学校・中学校ともに「学び合い」等を取り入れた授業改善が定着しつつあることがうかがえます。

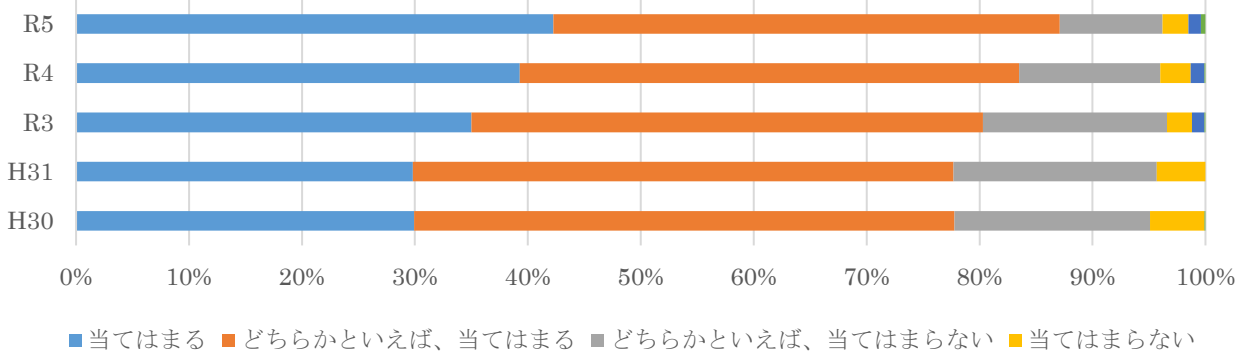
5年生までに受けた授業では、問題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか（小学校）



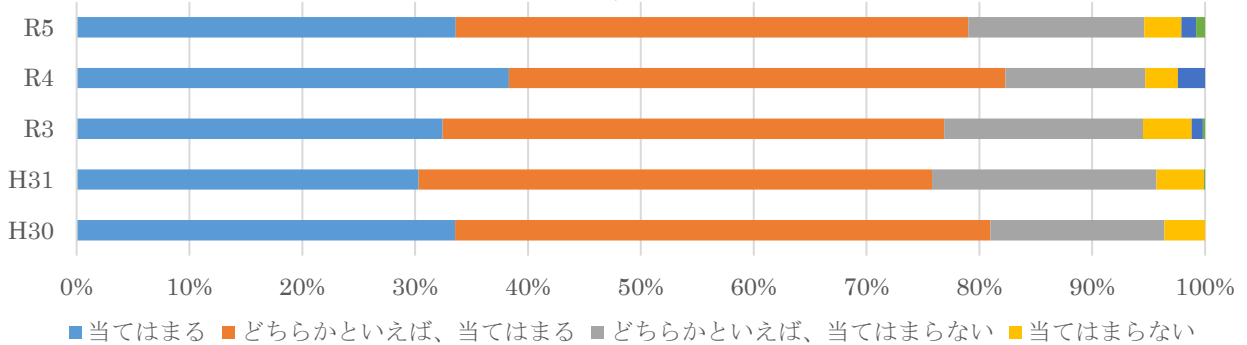
1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか（中学校）



学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか（小学校）



学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか（中学校）



【小学校の傾向と課題】

国語では、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」については、全国とほぼ同じ結果になりました。また、「情報の扱い方に関する事項」については、全国を少し上回る結果となりました。特に、「原因と結果など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる」設問【1一】は、全国を上回りました。様々な情報の中から原因と結果の関係を見いだし、結び付けて捉えられるようになってきていることが分かります。

一方、「読むこと」については全国を下回り、「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる」設問【2四】は、全国を大きく下回る結果となりました。複数の本や資料に書かれていることを整理するとともに、それらを比較したり、関連付けたりしながら、自分の考えをまとめる学習を充実させていく必要があります。

算数では、正答数の分布は平均の層は全国や県に比べ多い状況ですが、下位層がやや多く上位層がやや少なくなっています。

領域別で見えていくと「数と計算」、「図形」は、全国を少し下回り、県とほぼ同じでした。また、「変化と関係」、「データの活用」は、県とほぼ同じでしたが、全国を下回っています。

設問別に見ていくと、「数量の持つ意味を考える」設問【2(3)】、【3(4)】や、「考えの根拠を言葉と数を用いて記述する」設問【1(3)】、【4(3)】については、全国を大きく下回っており、考えの根拠を数や式、言葉を用いて表現する活動を一層充実させていく必要があります。

【中学校の傾向と課題】

国語では、「我が国の言語文化に関する事項」の領域において、全国、県を大きく上回る結果となりました。また、「書くこと」の領域では、全国、県を上回る結果となりました。

【3四】「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く」設問では、全国を大きく上回り、県を上回りました。他の領域の記述式の設問でも同様の傾向が見られることから、記述する条件を捉える力、条件に沿って適切に答える力が定着していることがうかがえます。

一方で、【1二】「意見と根拠など情報と情報との関係」を問う設問は全国を下回り、話や文章に含まれている情報を取り出して整理したり、その関係を捉えたりすることに課題があることが分かりました。他の領域との関連を図りながら、情報を扱う活動を充実していく必要があります。

数学では、すべての領域で県を上回り、「関数」「データの活用」領域では全国を上回る結果となりました。【8(3)】「問題解決の方法を数学的に説明する」設問では、全国と県を大きく上回りました。また、無答率も全国と県を下回っており、日常生活や社会の事象を数理的にとらえ、問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明する力が付いていることがうかがえます。

一方で、【9(1)】「事柄が成り立つことを構想に基づいて証明する」設問では、県を少し上回ったものの、全国を下回りました。また、無答率も他の設問と比べて高く、筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することに課題があります。このことから、証明の方針を立てたり、証明を読んで改善したりする学習活動を充実させていく必要があります。

英語では、各領域において全国と県を上回る結果となりました。特に「日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうか」を問う設問【3】や、「社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができるかどうか」を問う設問【8(1)】では、全国と県を大きく上回る結果となりました。

一方、「社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうか」と問う設問【8(2)】や、『相手の行動を促す』という言葉の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができるかどうか」を問う設問【9(2)】では、他の設問に比べて無解答率が高くなっています。質問に対する自分の考えとその理由を書いたり、場面に適した表現を用いて書いたりする機会を増やしていく必要があります。

児童生徒質問紙の回答から見た学習状況や生活の諸側面

●傾向と課題

小学校・中学校ともに、学習状況や生活の諸側面に関わる児童生徒質問紙の多くの項目では、肯定的な回答が全国や県の平均を上回っており、安曇野市の子どもたちの良さがうかがえます。

生活面では、昨年度までの調査結果と同様に「朝食を毎日食べている」や、「起床・就寝時刻が一定している」の回答が多いことから、ほとんどの児童生徒が規則正しい生活を送っていることが分かります。

また、例年どおりに地域行事に参加したり地域のために何かできることがないかを考えたりしている児童生徒が多いことや、「人が困っているときは、進んで助けますか」や「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対する肯定的な回答の多いことから、地域や社会貢献に対する意識の高さも分かります。

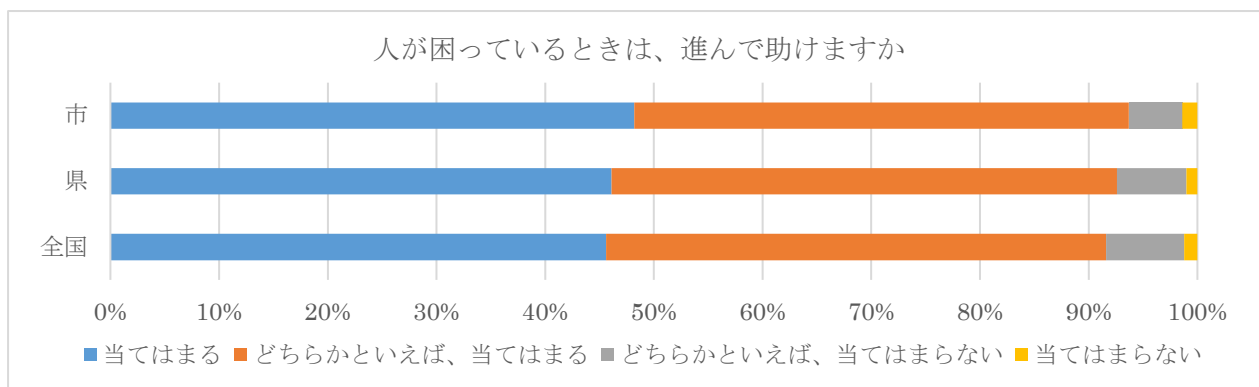
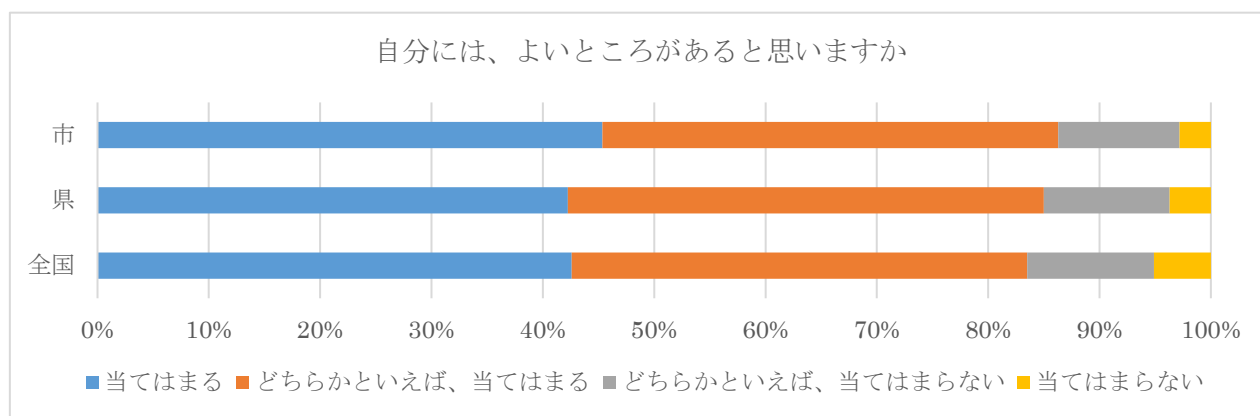
さらに、「自分には、よいところがあると思いますか」や「友達関係に満足していますか」に対する肯定的な回答が多いことも安曇野市の児童生徒の特徴となっています。

「学力状況」の項目の中でふれたこと以外の学習面では、「5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」や「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」、「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか」などに対する肯定的な回答の多さから、学習したことを活用している児童生徒が多いことが分かります。家庭学習では、自分で計画を立てて勉強する児童生徒が多いことが安曇野市の児童生徒の特徴となっています。

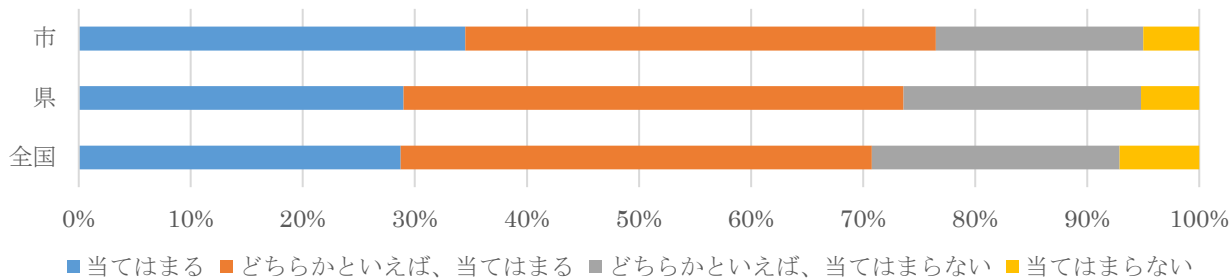
心配される面としては小学生の平日の家庭学習時間の少なさが挙げられます。「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日どれくらいの時間、勉強しますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」に対する回答では「1時間以上2時間より少ない」が40.3%で最も多く、それ以上の時間を答えている児童の割合は16.2%で県を下回り、全国を大きく下回っています。また、経年推移で見ても学習時間が「1時間より少ない」と答えている児童の割合がやや増えてきています。ただし、昨年度は休日についても全国や県に比べて学習時間が少なく心配されましたが、それについては改善されています。

さらに、昨年度は小学校の授業でのICT機器の利用頻度が少ないことも心配されましたが、「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」に対する回答では「週3回以上」までの利用が56.8%で、全国に比べるとまだ低い状況ですが、県とはほぼ同じでした。経年推移で見ると昨年と比べ15%近い使用頻度の向上がありました。依然として学校間や学級間の差もありますが、市全体としては授業での利用頻度が向上してきています。他の調査結果では、PC・タブレットなどのICT機器の使用頻度については、多ければ学力が向上するものではないという報告があります。各教科での適正な利用を更に進めていくことが求められます。

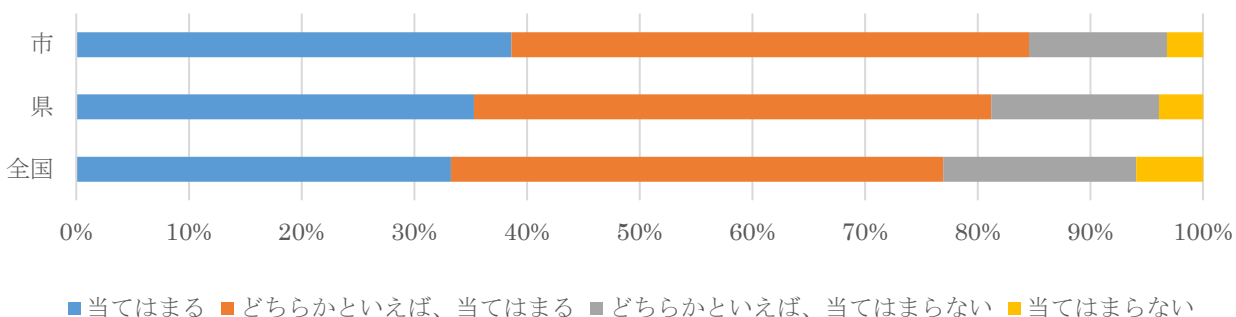
【良さが分かる小学校のグラフ】



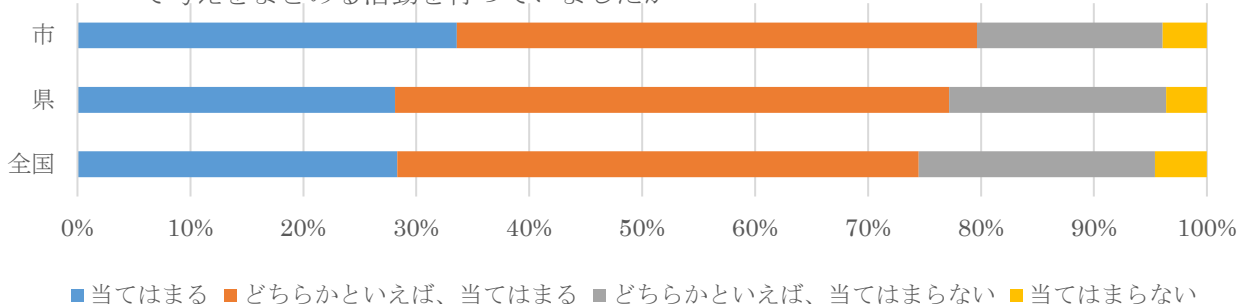
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）



地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

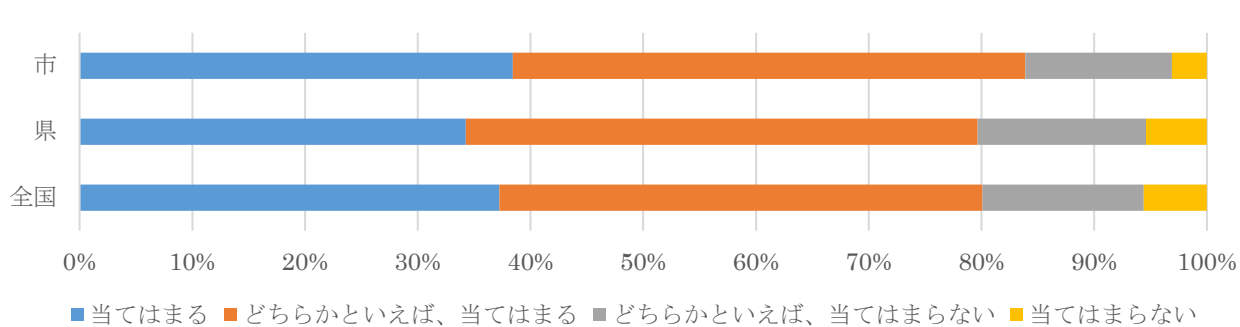


5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分で考えをまとめる活動を行っていましたか

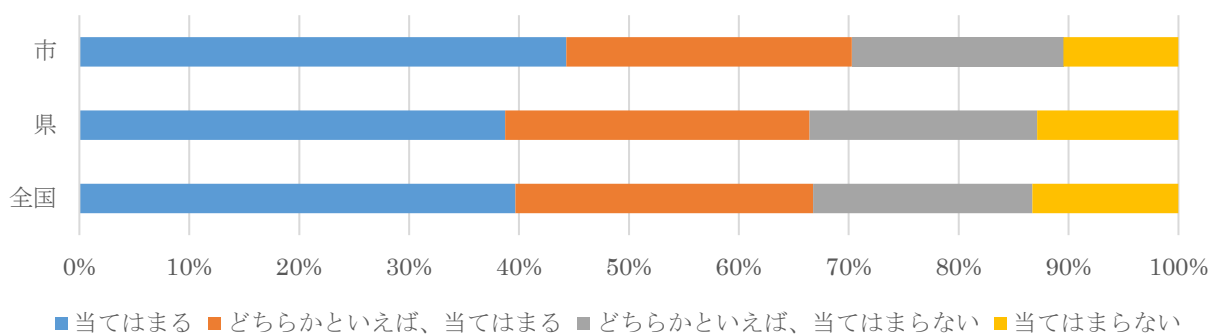


【良さが分かる中学校のグラフ】

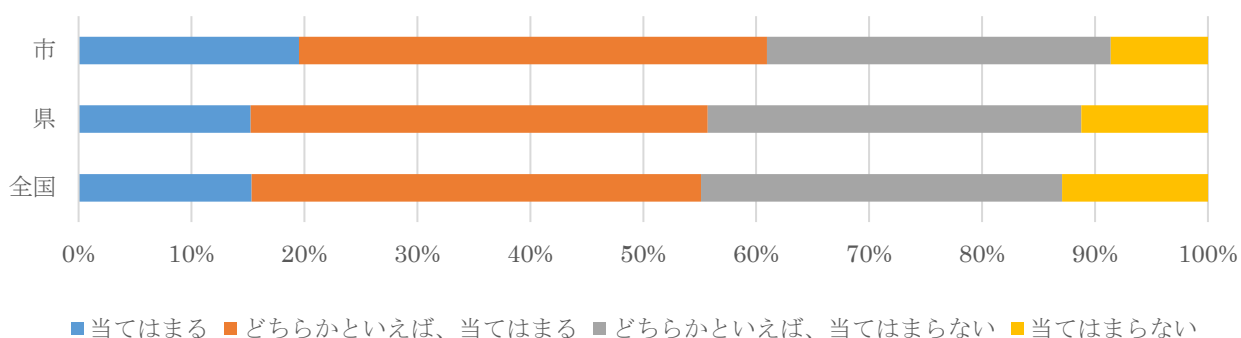
自分には、よいところがあると思いますか



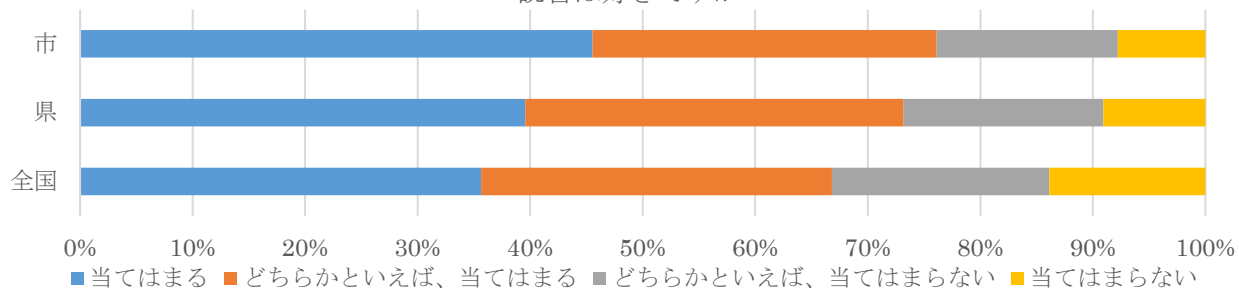
将来の夢や目標を持っていますか



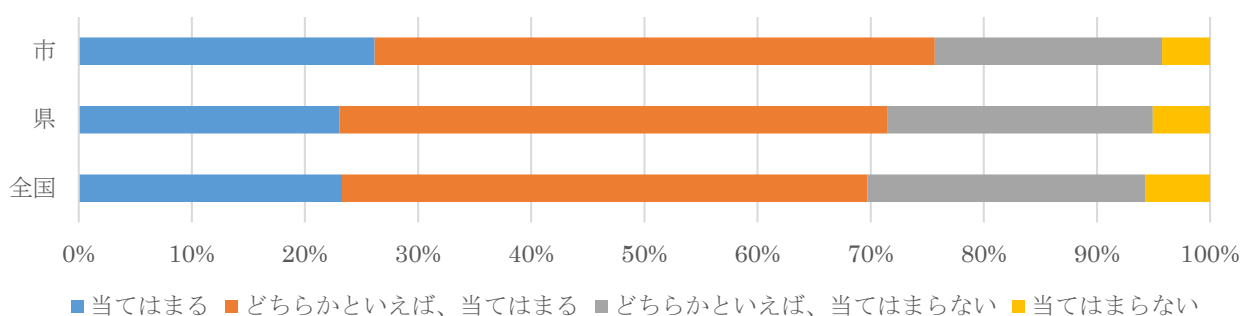
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）



読書は好きですか



学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



比較的正答率が高い傾向にある子どもの学習や生活の様子

学力調査結果と学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する質問紙調査結果のクロス集計を分析すると、次に示す項目においてより肯定的な回答や特定の回答をした児童生徒の正答率が調査した教科のいずれでも比較的高い傾向がみられました。

【小学校・中学校共通】

◇自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

◇普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか

※「よくある」の回答

◇あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）

※「201～500冊」の回答

◇新聞を読んでいますか

※「ほぼ毎日読んでいる」の回答

◇外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか

◇5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

◇5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

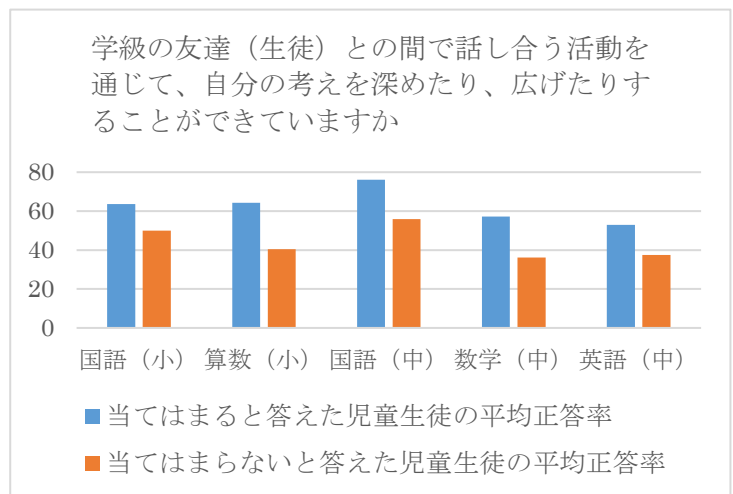
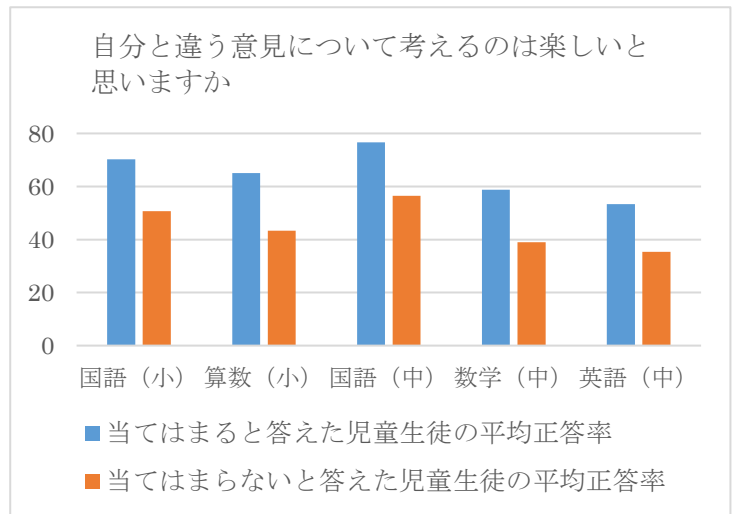
◇5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか

◇学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

◇学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

◇授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか

◇道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか



- ◇算数（数学）の勉強は好きですか
- ◇算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか
- ◇英語の勉強は好きですか
- ◇英語の勉強は大切だと思いますか
- ◇今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか
 - ※「全ての各問題で最後まで解答を書こうと努力した」の回答
- ◇今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く（説明する）問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか
 - ※「全ての各問題で最後まで解答を書こうと努力した」の回答

【小学校】

- ◇毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
- ◇毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
- ◇自分には、よいところがあると思いますか
- ◇先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
- ◇先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか
- ◇学校に行くのは楽しいと思いますか
- ◇友達関係に満足していますか
- ◇学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
 - ※「2時間以上、3時間より少ない」の回答
- ◇土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
 - ※「3時間以上、4時間より少ない」の回答
- ◇学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
 - ※「2時間以上」の回答
- ◇昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館（それぞれ電子図書館を含む）にどれくらい行きますか
 - ※「週に1～3回程度行く」の回答
- ◇地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

◇日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか

◇学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）

※「30分より少ない」の回答

◇5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

◇総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

◇あなたの学級では、学級生活をよりよく

するために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか

◇学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか

◇国語の勉強は大切だと思いますか

◇国語の授業の内容はよく分かりますか

◇国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見つけていますか

◇国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか

◇算数の勉強は大切だと思いますか

【中学校】

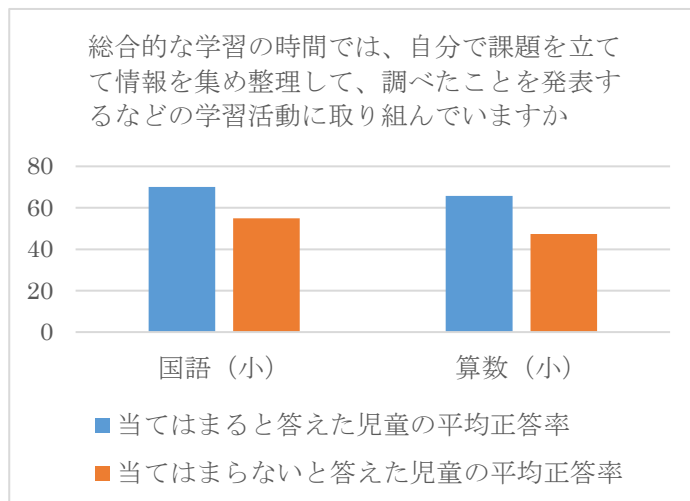
◇学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

※「2時間以上、3時間より少ない」「3時間以上」の回答

◇土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

※「4時間以上」の回答

◇昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館（それぞれ電子図書館



を含む) にどれくらい行きますか

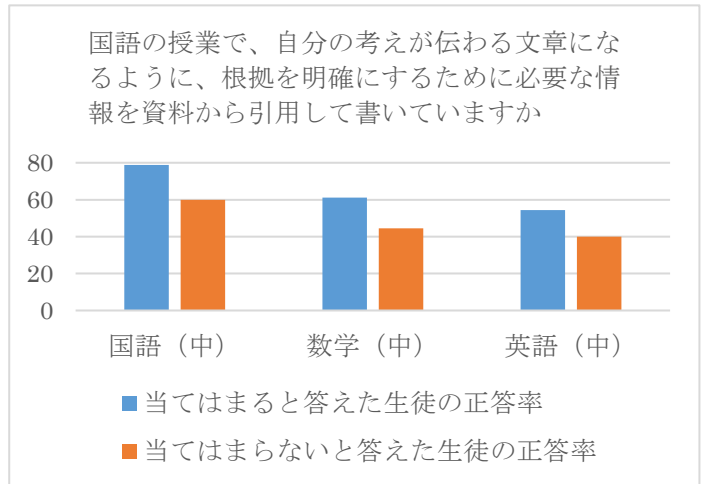
※「だいたい週に4回以上行く」の回答

◇学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）

※「30分以上、1時間より少ない」の回答

◇国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していますか

◇国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか



◇英語の授業の内容はよく分かりますか

◇英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

◇家庭学習の課題（宿題）として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して英語の音声を読んだり英語を話す練習をしたりしていますか

※「ほぼ毎日」の回答

◇1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか

◇1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか

◇1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか

調査の今後の活用

市教育委員会と各校は、調査を通して把握した児童生徒の実態を教育施策や教育活動に役立てていくために、関係機関と連携しながら次のような取組を行います。

市教育委員会は、

(1) 全国学力・学習状況調査の分析から見えてくる児童生徒や学校の良さや課題を、日々の教育活動に活かせるように支援していきます。

①国や県の動向を注視し、今日求められる学力とそれに対する学び方や指導・支援のあり方についての方向性を示します。（学力向上推進委員会など）

②調査教科の市全体の「課題と具体的な改善の方向」を示し、授業改善に向けた提案をします。(学力向上推進委員会)

②学校の願いに応じながら、教育指導室の学校訪問等で日々の授業改善を支援します。

(2) 授業や学校生活、家庭学習などにみられる教育課題に対応していくために、市校長会や市教育会と連携して、調査・研究を行ったり、小中学校間の教職員の交流や研修などを推進したりしていきます。

①各校で開催される授業研究会や研修会に他校からも参加できるようにし、月ごとの公開授業・研修会を、各校の協力を得て市内小中学校に発信していきます。

②各校の優れた実践を市内小中学校に紹介していきます。

(3) PC・タブレットなどのICT機器を活用した授業や家庭学習での効果的な利用方法等について、教職員の研修を推進したり各校の取組を支援するとともに優れた実践を紹介したりしていきます。

(4) 探究的な学びの推進が図れるように、総合的な学習の時間の充実に向け地域教材の活用について情報を発信していきます。

各校は、

(1) 自校の傾向や課題を把握・分析し、指導内容や指導方法の改善に活かすようにしていきます。そのために、以下の点に配慮します。

①明らかに落ちているまたは伸びている領域の問題を分析する。

②回答数が低い(0～2問程度)児童・生徒の課題等を分析する。

③当該学年、当該教科だけの課題にするのではなく、hyper-QUやCRTなどの検査等と関連付けて分析し、全校の授業改善に活かせるようにする。

④分析結果から、必要な補充・補完を計画し実施する。

(2) 「児童(生徒)質問紙」や「学校質問紙」から見えてくる良さや課題を、日々の指導や教育活動に活かしていきます。

(3) 児童生徒が、授業や学校生活、家庭学習などについて自分の課題を知り、自ら改善していくことができるように、一人ひとりの児童生徒とその家庭へ具体的な指導・助言や支援を行っていきます。

(4) 学校での学習や生活の基本的な習慣を形成するとともに家庭学習の定着のために、市教育委員会や各家庭、地域と連携をしながら取り組んでいきます。また、様々な機会を通して各家庭に協力を呼びかけたり、支援をしたりしていきます。

(5) 教育委員会と連携しながら、PC・タブレットなどのICT機器を活用した授業や家庭学習での効果的な利用に努めます。その際は、メディアリテラシーにも十分配慮しながら進めます。